



誰一人不幸にさせないために、JR東日本グループに働く
「パート・アルバイトを含む
全ての労働者の雇用と生命」を守ることを確認し

6/10

2020年度夏季手当交渉妥結!

基準内賃金の

※支給日 6/29(月)以降、準備出来次第

2.4ヶ月 + 5,000円

グリーンスタッフについては、令和2年度中の契約満了時の精勤手当に対して

5,000円を加算

職場で奮闘し続けている

組合員の声・想いを踏まえ、

JR東日本の健全な経営を目指す

JTSU-EEとしての考え方を

全12ページに渡る「意見書」として提出!

2020年6月17日

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 深澤祐二殿

JR東日本輸送サービス労働組合
中央執行委員長 佐々木宏



全世界に蔓延する新型コロナウイルスの脅威を乗り越え、
JR東日本グループに働く社員と利用者の
「安全」「いのち」「生活」を守り抜くための意見書

2020年2月10日、「全ての仲間のために！」をスローガンに結成大会を開催し新しい労働組合運動をスタートさせました。JR東日本輸送サービス労働組合が目指す運動は、組合員が主役となり、常に組合員の声を聞き、結集する組合員を決して置き去りにすることのない全職場からの運動です。

すでに、組合員の声に基づく申し入れを提出し、これまで行なった団体交渉は17回を数えました。特に、労使間の取り扱いに関する協約が未締結の中で各種法令等に基づき精力的に団体交渉を行なっていたいただきましたことに深く御礼申し上げます。

2020年に入り全世界を席巻している新型コロナウイルス感染症は、JR東日本の経営環境と働く私たちの生活の全てを一変させてしまいました。4月28日に公表した2019年度期末決算や2020年度の鉄道営業収入の対前年比実績(4月24.2%、5月29.0%)を見て明らかのように、依然として厳しい経営環境が続いています。この「生物災害」と言える新型コロナウイルスの感染拡大は、あらゆる判断基準を作り「取束」することはできても、新型コロナウイルスの脅威を「終息」させる見通しは現時点において誰にも立てることはできません。

私たちは、JR東日本発足から33年間、多くの課題に直面しながらもJR東日本のトッププライオリティである「安全」を第一にその困難を乗り越えてきました。今こそ、その中で得た知識と経験、継承される技術と技能をフルに活かし、地域の足を守り抜いてきた日本最大の鉄道会社としての「誇り」と「使命」をかけて、さらなる鉄道の安全とその安全を最優先で守り抜く全社員の「いのち」と「健康」、何よりも「雇用」を守り抜くことが求められています。

そのためには、様々な現実と直面しながら奮起し続ける社員の意見を大切に「現場第一主義」の企業風土をいまだ一度創り上げることが重要だと考えます。この困難とも言える事態を乗り越え、JR東日本が将来にわたって事業継続ができるように、いくつかの視点から意見を述べるべく「意見書」を提出させていただくことにしました。JR東日本経営陣の皆様にご一読いただき、申10号団体交渉の経過を踏まえ緊急に経営協議会を開催し、その中での議論を要請するものです。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に対するJR東日本の立ち向かい方について考え方を述



意見書は上記のQRコードから!

ポストコロナを見据えた
経営の根幹に関わる課題が山積している中、このようにから
「緊急事態宣言」の発令を受け、後方支援や経営一